

## 事業所新年挨拶

2010年という新しい年が明けました。就労継続支援事業所を始めてもうすぐ3年目を迎えようとしています。

住宅地からすこし離れて、畑に囲まれた農園の中のいこいの家は、ゆったりとした時間が流れ、一人ひとりが穏やかな気持ちで各自に合った活動や作業のできる、とても有意義な場所だと私は思います。

この場所で、日中だけですが、みんなと過ごせることを、とても嬉しく思います。

今年も体調に気をつけ、長い目標は「自立」。今年一年の短い目標は、各自の胸の内にあると思います。それへ向かって一歩二歩進んで行きましょう。

代表 大濱 守哲

## 新年会

一月二日、いこいの家では、恒例の新年会が行われました。例年通り参加者も多く、オードブルや中身汁を囲み、和気あいあいと行われ、新年の抱負などを述べました。



ベンケイの花

『さらなる飛躍の年にしたい』、『技術を習得したい』等がありました。さて、今年はどうなる一年になるでしょうか。(信二)

私達いこいの家での営業活動を多くの方々に理解して欲しいです。そのためにもっと多くの仕事を頂けるよう頑張ります。(Y.O)

営業活動を通して多くの方とのふれ合いが多くなり、まだまだ慣れない事も多いですが、とても楽しいです。(E.K)

今まで、ただ顔見知りだった方とも、営業を通して、話す機会もふえ、交流の輪が広がりました。(T.S)



いこいの家では、名刺の注文や南山舎発行の『月刊やいま』や『八重山手帳』の受託販売を行っています。以前は二人の利用者が中心となつて、この営業活動を行ってききましたが、一月より新メンバーも加わりましたので、現在は三人が営業を担当しています。随時注文を受け付けていますので、どうぞいこいの家までお電話下さい。皆様よろしくお願い致します。

## 今後の活動予定

・・・機織(はたおり)を始めます・・・

ブー(芋麻)の紡ぎを始めました。“島の染織を事業の柱に”という所長の強い思いの元に藍の栽培を始めて一年余りが過ぎました。去年は、藍をはじめとして、福木や紅露(クール)、相思樹(そうしじゅ)等でショールを染め販売し、概ね好評でした。一通り染作業を体験したところで、ようやく、というか、ついに織りのための前段階の糸作りが始まりました。糸の紡ぎは根気と時間を要するとても地味な作業です。果たして参加者がいるか心配しましたが、紡ぎ始めて数週間、何名かの方が取り組んでいます。細すぎたり、太すぎたり、紡ぎ目もいろいろと個性溢れる糸が少しずつ増えていきます。さて、この糸達の織なす世界は…と、イメージを膨らませわくわくしています。布でお目にかかれるのは、まだ少し先のことですが、どうぞお楽しみに。

(加勢本)

## 新職員紹介

川崎正志(かわさき ただし)

2010年1月2日のいこいの家新年会から、いこいの家の一員に加えて頂きました。生まれは石垣からはるばる北、2700km離れた青森県は弘前市。りんごと米、桜と弘前城、そして津軽富士がそびえる風光明媚な町です。家族は妻と子が6人。大家族を救うカギは、芋と豆だと思っています。



いこいの家では楽しく長持ちする生き方をしたいと思っています。モットーは、「芋と豆は世界を救う!」どうぞよろしくお願い致します。

## 編集後記

1月30日に、八重山保健所主催のメンタルヘルス講演会にて、蟻塚先生による「統合失調症は回復する～そのつきあいかた～」の講演がありました。心の病はけっして特別なものでなく、周囲の人たちとのつながりを持って社会参加することが大切であることを学びました。講演会開催に尽力をいただいた各関係機関のみなさまに深く感謝したいとおもいます。

神保